

# 「僕が？私が？裁判員！？」



令和6年2月10日（土）、中学生から大学生の方を対象に参加を募り、裁判員等経験者意見交換会を開催しました。

本物の法廷で法曹三者と裁判員等経験者による模擬裁判員裁判を行いました。



裁判員に選ばれるまでの流れについて、実際の裁判員候補者の方にご覧いただくビデオを上映し、職員から説明を行いました。



参加者のみなさんから裁判員等経験者の方には様々な質問がありました。

パネル  
ディスカッション

Q. 裁判員について、選ばれる前はどのように考えていましたか？

A. 経験してみたいと思っていました。選ばれればラッキーだと思っていました。

Q. 裁判員裁判の結論の出し方は？裁判官の意見が通るのですか？

A. 裁判員一人ひとりの意見が、思った以上に判決に反映されていて驚きました。



Q. 裁判員を実際にやってみてどうでしたか？

- A. 職場の理解も得られ、裁判に向き合うことができました。被告人に直接質問できる機会もあり、事件の背景を知って心が揺れ動きました。裁判員を経験する前とは、刑事事件に対する印象が大きく変わり、経験できてよかったです。
- A. 様々な世代、職業の人と、同じ立場で話し合い、自分の意見を説得的に伝えようとしたことは、貴重な経験になりました。裁判のニュースに自分事として興味を持つようになりました。

Q. 審理や評議はどのように進められましたか？

- A. 医学的な専門用語についても解説があり、自信のない部分もサポートしてもらえたので、不安はありませんでした。
- A. 争点などを分かりやすくまとめた資料をもらい、それを見ながら説明を聞きました。わからずついていけないと思うことはなかったです。無駄がなく、必要以上に時間をとらせない工夫がされていると感じました。



Q. 未来の裁判員へメッセージはありますか？

- A. 一般にみなさんが思うほど堅苦しいものではないので、機会があればぜひ裁判員をやってみてください！
- A. いろんな力を借りて審理に携わることができるので、ハードルを高く捉えず前向きに考えてほしいです！

## 法廷見学



裁判員や法曹の席に座ったり、法服を試着したりしながら記念撮影！

## ～参加者の皆様のご感想(一部ご紹介)～

- ・ 法律の知識がない人でも裁判に参加することができるように工夫されていることが分かりました！
- ・ 裁判員の選任手続について詳しい説明があり、実際に選任されたときの具体的なイメージができました！
- ・ 裁判や裁判員がとても身近になりました！これまでは裁判員に指名されたら困るなあと思っていましたが、イベントに参加してみて、機会があればやってみたいと思うようになりました。

京都地方裁判所

